

あれから
100年

写真ト資料ガ
ツナグ
大震災ノ記憶



関東大震災

と

幸手



【写真】「幸手町震災実況記念帖」より（中2丁目 岸本規生家所蔵）

令和5年(2023)9月1日は、大正12年(1923)9月1日に関東大震災が発生してから、ちょうど100年にあたります。当時の幸手町は、粕壁町（現春日部市）、川口町（現川口市）とともに、埼玉県内でも甚大な被害があった三大被災地に数えられています。今回の企画展では、当時の幸手の被災状況を伝える資料を紹介します。



詳しくは
ホームページを
ご覧ください

入館無料

令和5年 **9.1** (金) → **10.9** (月・祝)

開館時間：午前9時～午後5時 休館日：月曜日・9月19日(火) ただし、9月18日(月・祝)・10月9日(月・祝)は開館

あれから100年 関東大震災と幸手

令和5年(2023)9月1日は、大正12年(1923)9月1日に関東大震災が発生してからちょうど100年にあたります。

当時の幸手町(現在の中地区をはじめとする市の中心部)は、粕壁町(春日部市)、川口町(川口市)とともに、埼玉県内でも甚大な被害があった三大被災地として数えられています。

今回の展示では、アマチュア写真家の故浜田得一氏が撮影した関東大震災の記録写真(市指定文化財)をはじめ、市内諸家が所蔵する震災関係資料の展示をとおして、関東大震災がどのような災害で、市域にどのような被害をもたらしたかを紹介します。



「幸手町震災実況記念帖」(岸本規生家所蔵)



幸手小学校の校舎が倒壊した様子(「幸手町震災実況記念帖」より)



浜田得一が撮影した上高野村の被災状況写真



関東大震災二於ケル幸手町ノ震害図(高橋正美家所蔵)

企画展関連事業

川口市・春日部市・幸手市の郷土資料館の展示を巡るスタンプラリー。3館のスタンプを集めた人にオリジナルマグネットをプレゼントします!
(先着100人)
※令和5年10月8日(日)まで

埼玉の関東大震災100年を巡る